エコノミーとエコロジーが共存する町おこしで観光振興

85 佐世保（させぼ）

（長崎県佐世保市）

注目 ポイント ！

○ 東アジア圏でも人気の高いハウステンボスを中心に、国際的な観光地へ。
○ 西海国立公園・九十九島を柱に人と環境に優しい観光地へ。
○ 佐世保バーガー、九十九島牡蠣等、「食」のブランディングを推進。

外国人宿泊者数が約11万人（H8）から約17万人（H17）に！
佐世保バーガーの売上が約30万個（H13）から約200万個（H16）に！

九十九島

◇◇ コラム ◇◇

佐世保の知名度と観光地イメージを高めるために平成13年度に着手した「佐世保バーガーブランディング事業」は、こだわり・手作りの良さ等が広く市場に受け入れられ、県外にも浸透している。

またこれが一過性のブームに終わらないよう徹底した品質管理システムや情報鮮度の維持等にも注力している。

佐世保バーガー

佐世保バーガーボーイ

（(C) やなせたかし・SASEBO）

これまでの経緯

平成 4年（1992）	ハウステンボス開業。
平成 8年（1996）	商店街にぎわいイベント（きらきらフェスティバル）が始まる。
平成13年（2001）	佐世保バーガーと九十九島牡蠣を地域ブランドとしてPRを始める。 佐世保市観光活性化基本計画を策定。
平成15年（2003）	（財）佐世保観光コンベンション協会設立。
平成16年（2004）	エコツーリズムの推進を開始。
平成17年（2005）	佐世保市観光振興事業構想を策定。

※当該地域は「わたしの旅100選」（平成17年）として選定されたプランに含まれています。

主な取り組み

商店街賑わいイベントの開催

およそ1kmのアーケード街「さるくシティ403」では、商店街自らが主体となって実施している多彩なイベントが人気を呼んでおり、交流人口の増加にも大きく貢献している。特に、アーケードを全面的にパーティー会場に仕立てて行うきらきらフェスティバルは圧巻で、アーケードに詰めかけた5,000人の人々が一斉に乾杯する。

きらきらフェスティバル

エコツーリズムの推進

佐世保市が主体となって、九十九島の自然をありのままに楽しむカヤックツアーの開発等エコツーリズムの推進に取り組んでいる。

カヤックツアー

漁業者・農業者との連携

エコツーリズムの推進のため、佐世保市、漁業者・農業者が定期的に研修を行う等一体となって取り組んでいる。特に、農業者については、世知原茶を生かした観光振興を実施。

農業者研修

市内在住留学生との連携

市内在住約300人を数える東アジア地域からの留学生と連携して、佐世保観光のモニターを実施することにより、外国人にも楽しめる環境づくりを行っている。

無人島上陸体験

問い合わせ先

○佐世保市観光商工部観光課
Tel：0956－25－9639　E-mail：kankou@city.sasebo.lg.jp
○(財)佐世保観光コンベンション協会
Tel：0956－23－3369　E-mail：sasebo208@rapid.ocn.ne.jp